

虹の子会バザー報告

恒例の虹の子会バザーが今年も11月6日(土)鎌倉の深沢小学校体育館で開催されました。地元の大勢のボランティアの皆さんとともにJARPも社会貢献活動の一環としてお手伝いさせていただきました。バザー用品の寄贈のほか、会場ではオークションの運営を一括して担当し、概ね昨年並みの売り上げを達成することができました。



バザー会場体育館 & 全景

新島さんから>オークションの手順を説明され、真剣に聞き入るメンバー



バザー開催まえの入念な打合せ

開催されると、会場内は人&人の活気であふれた！！



ブラスバンドの演奏を聞きながら、掘り出し物探して購入し、“あ〜！嬉しい”



どれくらい入札されたかな?、入っているかなあ〜? “ちょっと心配%#…”



オークションコーナー



“オークションの趣旨を説明し”

迷っている人も多いので、入札参加を積極的に呼びかけています。



オークション、落札者発表、みなさん「落札出来たかな」と見る目も真剣です。

入札が締め切られ、12時に落札者氏名が発表されると、落札者が会計コーナーに集中し落札品物を嬉しそうに受け取りました。

中には、献金代りに敢えて高値で落札して下さいました。

“有難うございます”



入札の無かった品物の販売戦略会議



茅ヶ崎高校吹奏楽部



オークションコーナーも入札イベントを終え、売れ残った展示品の扱いに苦慮していた折、たまたまその中に、大変古く壊れかけたようなフルートが1本ありました。

この日、ボランティアとして舞台上で演奏してくれた、茅ヶ崎高校吹奏楽部の女子生徒数人に声を掛け、まだ使えるものか確かめて欲しい旨お願いすると、リーダーらしき女生徒が見に来てくれ、先の方が、一部壊れているが、修理は可能と、一曲上手に吹いて聞かせてくれたのです。

その女生徒の如何にも純真で優しい人柄と、落ち着いた上手に吹いてくれたフルートの音色に、オークションコーナーを担当するボランティア達も大変感激、売り場リーダーの岩澤氏が、僕がお金を出すよ、と、そのフルートは生徒にプレゼントされました。



周囲の皆さんも、その結末を笑顔と拍手でたたえ、吹奏楽部の前途を祈りました。我々も、その女生徒達から素晴らしい喜びを戴いたのです。

オークションコーナーのリーダー岩澤氏は、無意識の中、自然に出てしまった自分の行為に、照れながらも純真な笑みを浮かべ、その夜は湘南深沢と大船で、遅くまで美酒に酔ったそうです。

バザーも終了し、オークションの売り上げも上がり、良かった・・・



オークション 担当 メンバー